

館報名は **こかげ** になりました



ご応募ありがとうございました

図書館報を発行するにともない、少しでも皆さんに近い館報をと、図書館報の名称を募集しました。応募名には「こもれび」「くすの葉ノート」「ライブ・ライブ」「リーフ」「パピルス」「木蔭」と、本と樟からイメージされる言葉が多く寄せられました。多数の応募を編集委員会で選考した結果、「こかげ」に決定しました。

「こかげ」の名称は、学生・聴講生・職員と幅広い層からの応募でした。それぞれのコンセプトは、

- ・のんびりと樟のかげで本を読む……。そんな安直なイメージから。
- ・木蔭に入ってひと休みするように本の世界に入ってホッと一息つく、そんな気持ちをイメージしました。樟の木の蔭というイメージもあります。
- ・樟の木蔭で本を読もう！

です。

「こかげ」と命名いただいた3名のかたには、感謝状と樟蔭オリジナル図書カードを贈呈しました。贈呈のおり「館報名として採用され、永く残ることになってうれしい」「びっくりしました。樟蔭一年目で初めてこのようなことになりうれしいです。」と、感想をいただきました。

末永く大阪樟蔭女子大学図書館報『こかげ』のご愛読をお願いします。



聴講生
小村敏子さん



国文学科3回生
次井翔子さん

本紙のカットについて

本紙で使っているイラストは、2006年度学芸学部被服学科インテリアコース卒業生の、金田百恵さんの卒業論文『大阪樟蔭女子大学小阪図書館改装計画』からのものです。この卒業論文は、小阪キャンパスの図書館をもっと快適にしたいという思いから書かれた論文で、休憩室やAVコーナーの改装イメージがスケッチ風に表現されています。改装計画のコンセプトは、「何度も訪れたくなる図書館～街の一角のカフェ」とのこと。

学生が図書館に求めるものは、本、雑誌、ビデオなどの所蔵資料や情報サービスのほかに、自分ひとりの安らぎのコーナーであったり、図書館の窓から見える景観であったりします。このような学生の図書館への思いをきめ細かく吸い上げることによって、いつしか学生の心のなかで、大学図書館の存在が鮮明になるのではないのでしょうか。そんな思いをこめて、金田さんのスケッチを、カットとして掲載させていただきます。(晴)

2006年度卒業論文 金田百恵 (学芸学部被服学科インテリアコース)『大阪樟蔭女子大学小阪図書館改装計画』

編集後記

ここに、館報『こかげ』第1号をお届けします。在学生のみなさんと図書館がコミュニケーションをはかれるようにと、また卒業後も図書館を利用していただけるようにという思いをこめて『こかげ』を刊行しました。第1号は、先生、在学生、そして卒業生の方々のご寄稿を中心に編集しています。それぞれの方々の図書館への想いを通して、みなさんもどうぞ図書館に親しんでください。今年度は、本学の創立90周年にあたります。また、図書館のなかに田辺聖子文学館が誕生します。大学にとって記念的なこの時とともに生まれた『こかげ』が、みなさんの心のよりどころとなるよう願っています。(高橋晴子 記)



大阪樟蔭女子大学図書館報『こかげ』創刊号

発行日 2007年5月1日
編集 大阪樟蔭女子大学図書館報編集委員会
発行 大阪樟蔭女子大学図書館
小阪本館 大阪府東大阪市菱屋西4-2-26 TEL.06(6723)8182 FAX.06(6723)8387
関屋館 奈良県香芝市関屋958 TEL.0745(71)3158 FAX.0745(71)3148
ホームページ <http://library.osaka-shoin.ac.jp/>